2008年3月期決算説明会

Nippon Electric Glass

2008年5月1日

日本電気硝子株式会社

2008年3月期連結決算のポイント

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

増収・増益	・液晶用基板ガラス中心に販売拡大・生産性改善 ・最高業績更新（売上・利益） ・営業利益率： 25% → 27%
特別損益改善	・ネットで115億円余り改善 ・特損： CRT減損損失、有価証券評価損など
総資産増加	・流動資産増加： 現金・預金、受取手形・売掛金 ・有形固定資産増加： FPD、ガラスファイバ設備 ・設備投資額： 1，070億円
財務体質改善	・有利子負債残高／連結売上高： 35% → 26% ・第三次有利子負債削減3ヵ年計画（実績）： 3年間で△585億円 ・増資： 275億円 ・自己資本比率： 52% → 58%
キャッシュ・フロー	・営業CF・投資CF： 前期並 ・財務CF： 前期比＋約150億円

連結損益計算書

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

（単位：億円）

	07/3期	08/3期	増減(%)
売上高	3,364	3,682	9.5
営業利益	845	1,008	19.3
営業外損益	△31	△39	
経常利益	814	969	19.1
特別損益	△180	△64	
税前利益	633	904	
法人税等	232	398	
少数株主損失	△2	0	
当期純利益	403	506	25.5

≪ポイント≫

増収・増益：　液晶用基板ガラスが牽引

（プラス要因）
- 販売増加
- 液晶生産性改善
- 液晶新窯が早期戦力化

（マイナス要因）
- 製品価格の下落
- 原燃料価格の高騰
- 減価償却費など費用増加

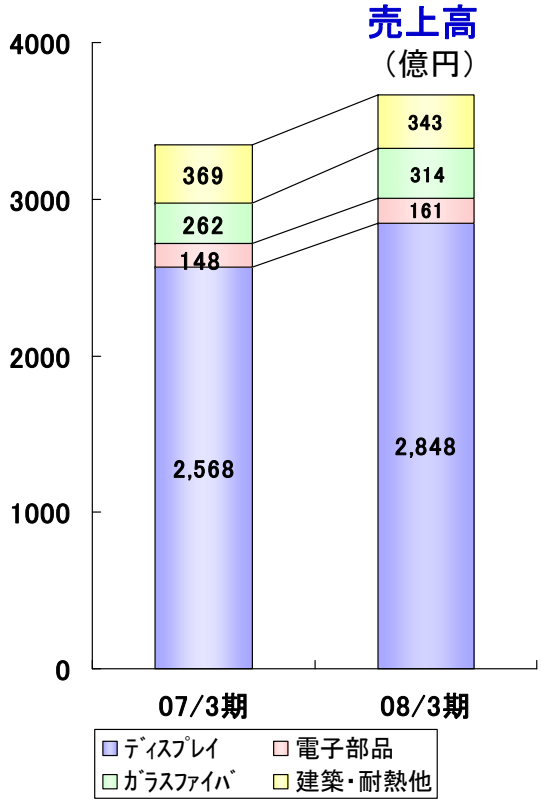
（特別損益の主な項目）
- 投資有価証券清算益　20億円
- 固定資産除却損　△17億円
- 減損損失　△63億円
- 投資有価証券評価損　△12億円

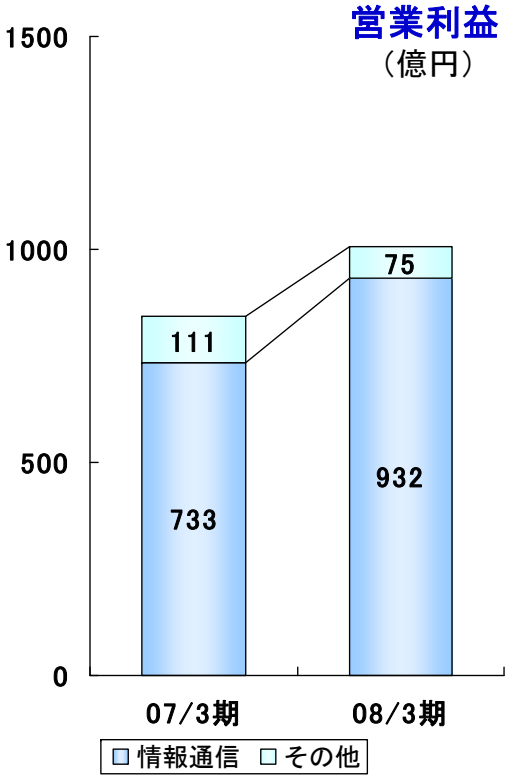
部門別（ガラス事業）の状況

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

（単位：億円）

	07/3期	08/3期	増減（%）
ガラス事業	3,349	3,668	9.5
情報・通信関連	2,717	3,010	10.8
ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ用	2,568	2,848	10.9
電子部品用	148	161	8.7
その他	632	657	4.1
ｶﾞﾗｽﾌｧｲﾊﾞ	262	314	19.5
建築・耐熱他	369	343	△ 6.9
そ の 他	14	14	△ 0.5
合　計	3,364	3,682	9.5



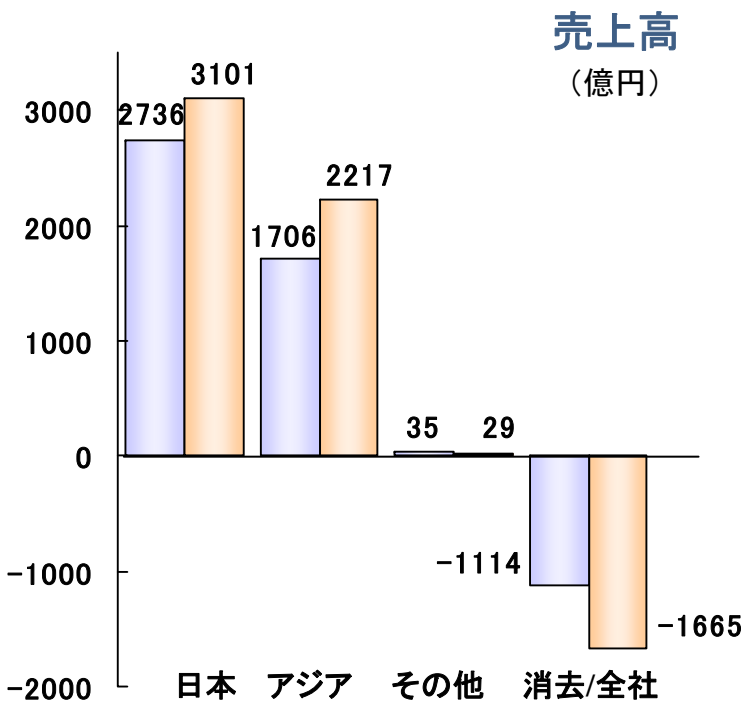


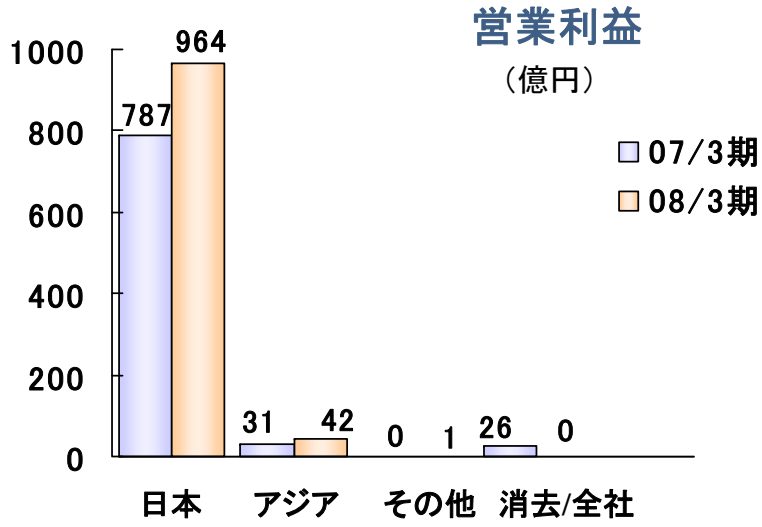
ディスプレイ：
　FPD　LCD基板ガラス・・・市場環境良好、生産性改善、新窯貢献
　　PDP基板ガラス、CCFL用・・・価格下落
　CRT 市場縮小＋設備削減
電子部品用：　イメージセンサ用堅調
ガラスファイバ：自動車部品向け堅調。新窯が下期売上げ寄与、初期費用増加
建築・耐熱他：　全般的に伸び悩む

所在地別セグメントの状況

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

所在地別売上高・営業利益





（注） 日本以外の区分に属する主な国・地域
・アジア ・・・マレーシア、中国、韓国、台湾
・その他・・・米国

日　本:　FPD売上・利益増加
アジア:　CRT減収・赤字 ⇔ 液晶加工拡大・利益寄与

連結貸借対照表

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

（単位：億円）

	07／3末	08/3末	増減
流動資産	2,087	2,388	301
現金・預金	853	1,010	156
受取手形・売掛金	728	848	119
たな卸資産	397	397	0
その他	106	132	25
固定資産	3,109	3,491	381
有形固定資産	2,746	3,185	438
無形固定資産	8	8	0
投資その他の資産	354	297	△56
合計	5,197	5,880	683

	07／3末	08/3末	増減
負債	2,431	2,402	△29
支払手形・買掛金	473	460	△12
借入金	1,162	967	△195
未払金	307	351	43
未払法人税等	158	296	137
その他	329	326	△2
純資産	2,765	3,477	712
株主資本	2,636	3,394	757
評価・換算差額等	82	45	△37
少数株主持分	46	38	△7
合計	5,197	5,880	683

≪ポイント≫

流動資産：・現金・預金 ……増資
・受取手形・売掛金 …販売増加

固定資産：・有形固定資産 ……設備増加
・投資その他 ……UK清算、株式市況低迷

負　　債：・借入金 ……社債償還
・未払法人税等 ……所得増加

純 資 産 ：・株主資本 ……増資、利益増加

連結キャッシュフロー計算書

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

（単位：億円）

	07/3期	08/3期	増減
営業活動によるキャッシュフロー	1,077	1,024	△53
税前利益	633	904	
減価償却費	380	388	
減損損失	150	63	
売上債権の増加額	△11	△130	
仕入債務の増加額	74	23	
法人税等の支払額	△172	△248	
その他	22	22	
投資活動によるキャッシュフロー	△959	△919	40
固定資産の取得による支出	△1,004	△908	
その他	44	△11	
財務活動によるキャッシュフロー	△94	55	149
長短借入金の増減	△65	△194	
株式発行による収入	―	275	
その他	△29	△25	
現金等に係る換算差額	24	△3	
現金等の増加額	48	156	108
現金等の期首残高	863	853	
連結除外に伴う現金等の減少額	△57	–	
現金等の期末残高	853	1,010	156

≪ポイント≫

営業CF：

前期比

・税前利益（＋270億円）
・減損損失（△　87億円）
・売上債権（△119億円）
・仕入債務（△　50億円）
・法人税等（△　75億円）

投資CF：

・FPD、ガラスファイバ設備
・フリーCF：＋104億円

財務CF：

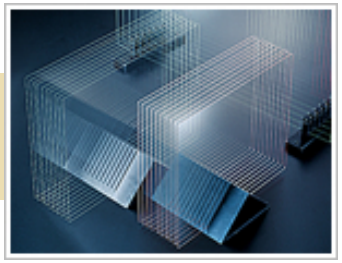
・社債償還
・増資

今後の経営戦略と次期の見通し

Nippon Electric Glass

経営戦略Ⅰ：コア事業の強化

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子



LCD用基板ガラス

生産能力やニーズへの対応力を向上

生産体制拡充

- 生産性改善
- タイムリーな設備増強

大型化

- より大型サイズの量産準備
- 需要サイズの変化に柔軟に対応・・・汎用性高いマルチフィーダー設備

グリーン化

- グリーン化の促進

薄板化

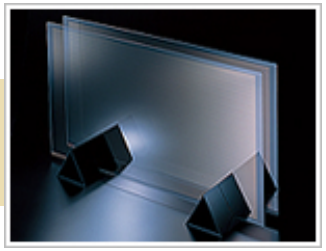
- オーバーフロー法のメリット追求
- 超薄板ガラス（薄さ数十～100μm）の開発促進、樹脂との組み合わせ技術
  →次世代ディスプレイ（有機ELなど）

経営戦略Ⅰ：コア事業の強化

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

PDP用基板ガラス

- 生産性改善による収益改善
- 得意先増産に対応



設備集約

- 生産効率アップ→設備集約･･･費用減少効果で採算改善を追求

得意先増産対応

- 得意先増産･･･生産性向上で対応

CRT用ガラス

損益改善

- 昨年後半から需給好転→価格是正効果により収益は改善傾向

経営戦略Ⅱ：バランスのとれた事業構造へ

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

電子部品用ガラス

- イメージングデバイスや光通信関連分野の強化
- NONガラス技術活用、先端技術分野向け製品開発

先端分野製品の開発

- 薄膜技術（光学製品、カラーリング技術など）
- 強化ガラス（タッチパネルなど）
- 光学ガラス（LED用蛍光ガラスなど）

ガラスファイバ

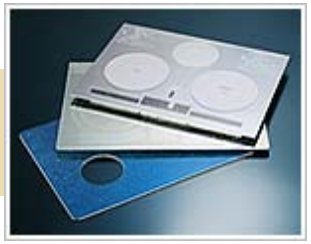
コアセクター（自動車分野向け）に注力

コアセクターに注力

- 機能樹脂強化用チョップドストランド・・・自動車部品向け中心にコンスタントな成長
- マレーシア：２期連続で設備増強→生産性向上に注力
- 国　内：高技術・高付加価値品に軸足

耐熱ガラス

- 主要製品（IH／ガス調理器トッププレートなど）の成長
- 結晶化ガラスの特性活かした用途開発

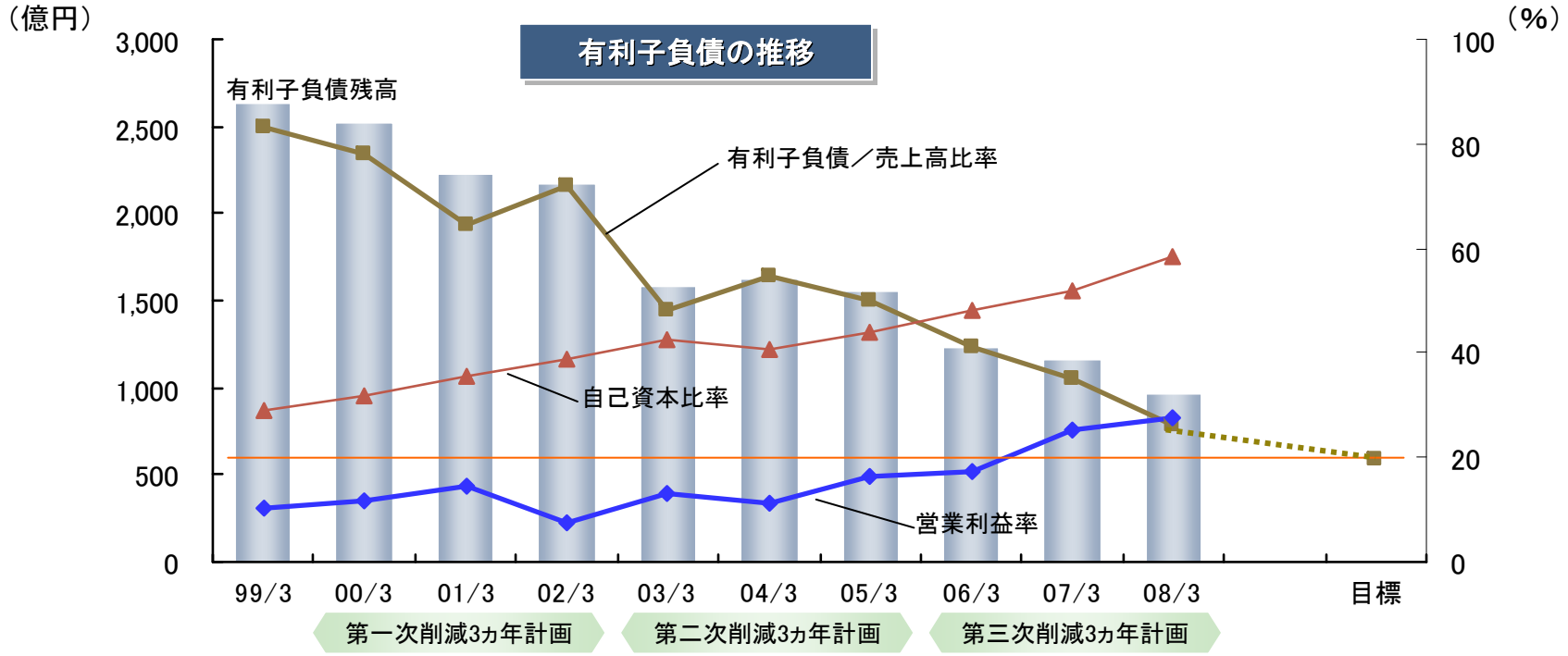


経営戦略Ⅲ：財務体質の強化

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

財務体質の強化

- 経営全般の効率化追求、キャッシュフロー重視
- タイムリーな設備投資
- 有利子負債削減

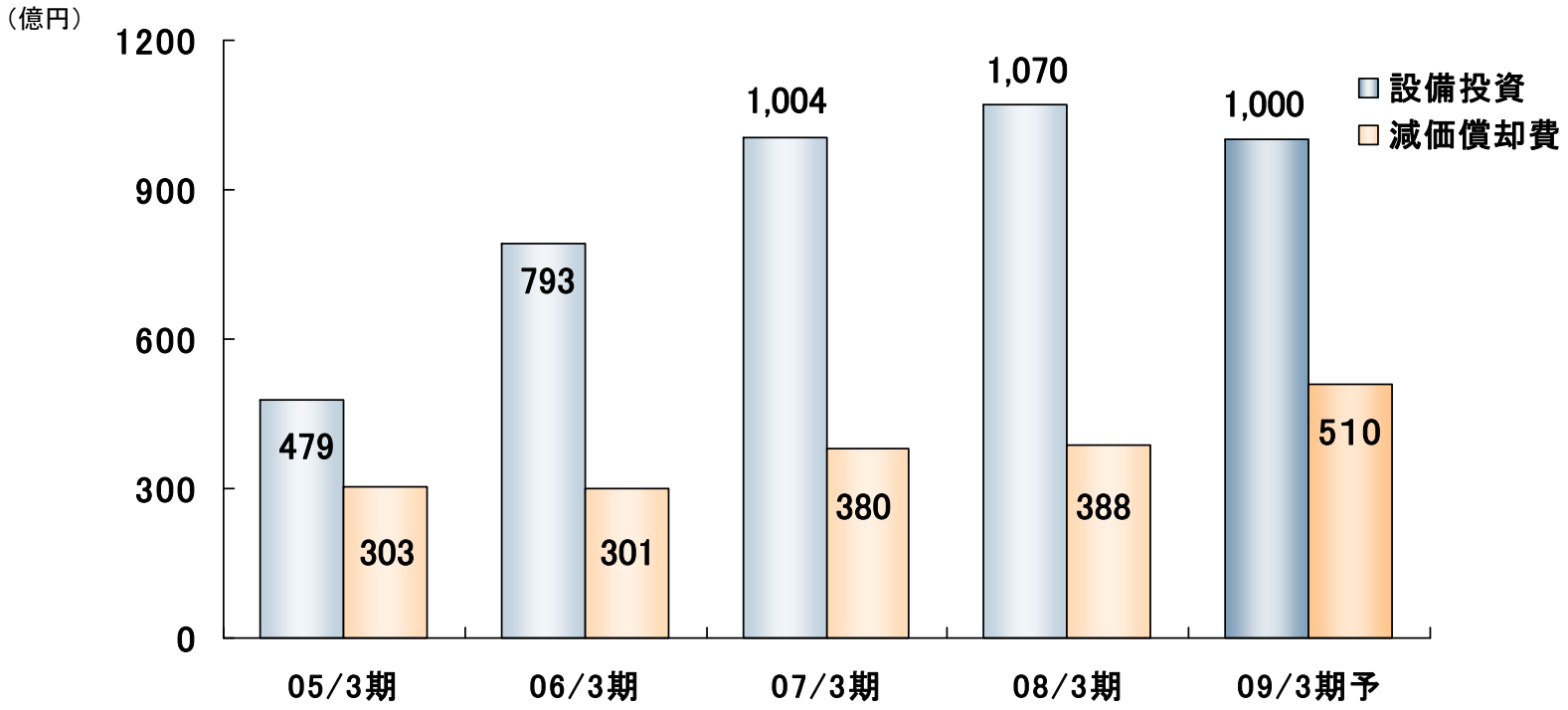


・有利子負債／売上高比率　26%
・自己資本比率　58%
・営業利益率　27%

設備投資・減価償却の見通し

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

設備投資・減価償却費



（設備投資）
FPD中心に高水準の投資継続

（減価償却費）
高水準の投資＋耐用年数変更に伴い増加予定

連結通期業績予想

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

（単位：億円）

	08／3期	09／3期（予想）	
	通期	第2四半期累計期間	通期
売　上　高	3，682	1，900～2，100	3，900～4，300
営 業 利 益	1，008	500～600	1，000～1，300
経 常 利 益	969	500～600	1，000～1，300
特 別 損 益	△　64	―	―
当期純利益	506	300～350	600～750
1株当り年間配当金	9円		10～11円

≪ポイント≫

・売上げ・利益ともに最高業績更新見込む
・FPD用ガラスを中心に堅調
・償却負担増、原燃料高騰を吸収

⇕

（不安定要素）需給バランスの崩れ
価格の変動
設備立上げ
生産性改善の進捗
諸費用の高騰

→ レンジ形式で業績予想

業績予想の開示について

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

事業を取り巻く環境変化激しく、半年～1年先の業績の的確な予想困難

↓

中間期と通期業績予想をレンジ形式で開示

＋

四半期業績見込みの早期開示

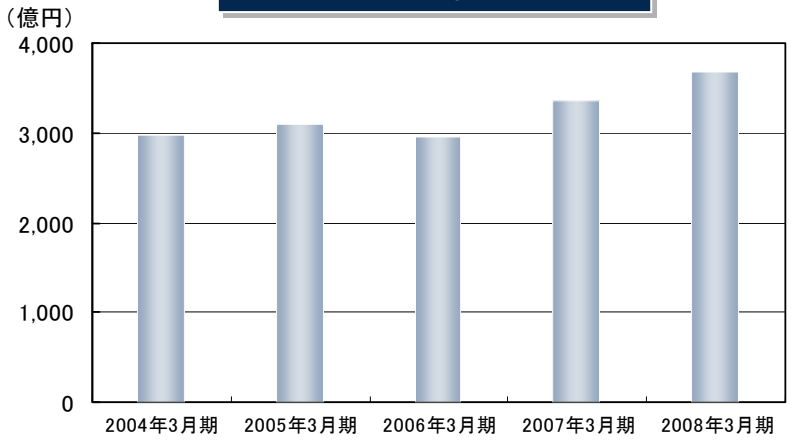
予定時期	内　容	
	当期（累計ベース）業績見込み （数値開示）	次期（四半期ベース）見通し （売上高・営業利益をレンジ開示）
6月下旬	第1四半期	第2四半期
9月下旬	第2四半期（中間期）	第3四半期
12月下旬	第3四半期	第4四半期
3月下旬	通　期	第1四半期

上記以外でも、適時開示基準に照らし、業績予想の変更が必要と判断した場合は適宜開示

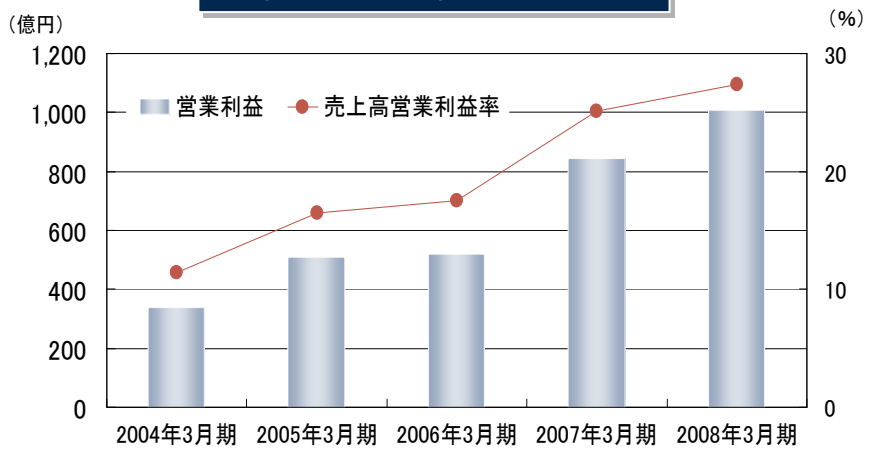
添付資料:主要な経営指標の推移

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

売上高

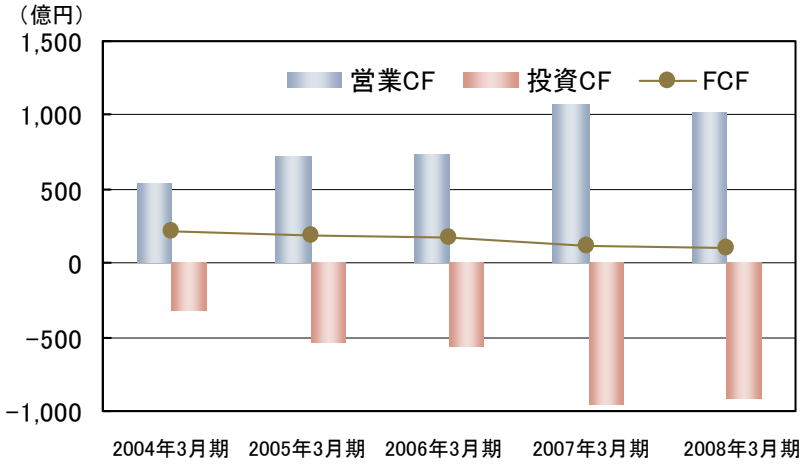


営業利益／営業利益率



経常利益／当期純利益

キャッシュフロー



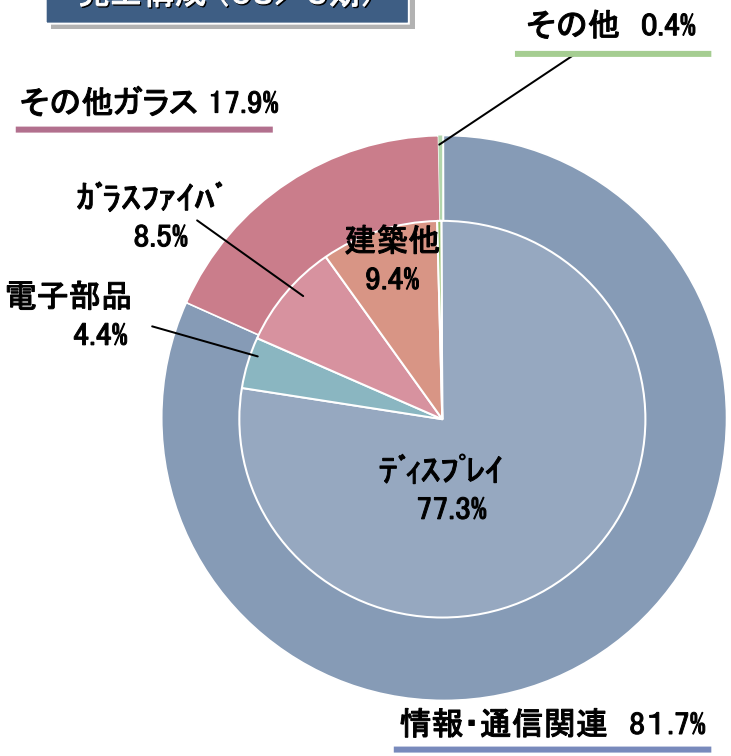
添付資料:日本電気硝子の概要

ハイテクガラスで未来をつくる
日本電気硝子

社名	日本電気硝子株式会社
本社	大津市
創立	1949年
資本金	321億円

事業内容	特殊ガラス製品およびガラス製造機械の製造・販売
事業場	大津／藤沢／滋賀高月／能登川／若狭上中／精密ガラス加工センター
連結子会社	23社

売上構成（08／3期）



主要な事業内容

情報・通信関連	ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ用ガラス	FPD	LCD：基板ガラス、ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ用ｶﾞﾗｽ PDP：基板ガラス、ガラスペースト
		その他	ブラウン管用ガラス
	電子部品用ガラス	光関連	光ファイバ接続用ｷｬﾋﾟﾗﾘ/ﾌｪﾙｰﾙ 球ﾚﾝｽﾞ/ﾚﾝｽﾞ部品／非球面ﾚﾝｽﾞ硝材
		電子ﾃﾞﾊﾞｲｽ用	粉末ガラス 板ガラス 管ガラス
その他	ガラスファイバ	ガラスファイバ	機能樹脂用ﾁｮｯﾌﾟﾄﾞｽﾄﾗﾝﾄﾞ プリント配線基板用ヤーン 強化ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ用ﾛｰﾋﾞﾝｸﾞ 耐アルカリ性ガラスファイバ
	建築用他	建築用	ガラスブロック 結晶化ｶﾞﾗｽ建材<ﾈｵﾊﾟﾘｴ>・<ﾗﾋﾟｴ> 防火設備用ガラス<ファイアライト> 放射線遮へい用ガラス ｲﾝﾃﾘｱ/ｴｸｽﾃﾘｱ用ガラス
		耐熱用	超耐熱ガラス＜ネオセラム＞ 耐熱ガラス＜ネオレックス＞
		その他	照明用ガラス 医薬・理化学用管ガラス 魔法びん用ガラス

予想に関する留意事項

◆ 本資料に記載されている業績見通しは、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいて作成されたものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。

◆ 実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。